

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2020年4月1日～ 2026年3月31日の期間に当院にて修正型電気けいれん療法を受けた患者さん			
② 研究課題名	電気けいれん療法における有効な痙けいれん誘発に関する因子の検討			
③ 実施予定期間	2025 年 11 月 ~ 2027 年 3 月			
④ 実施機関	国立病院機構呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	讃岐 美智義	所属	呉医療センター 麻酔科
⑥ 当院の研究責任者	氏名	讃岐 美智義	所属	呉医療センター 麻酔科
⑦ 使用する試料	<p>収集する診療情報は下記の通りです。 年齢、性別、身長、体重、既往歴、術前の内服薬、診断名、全身状態評価(ASA分類)、モニター・麻酔器・自動麻酔記録情報(バイタルサイン、術中出血量、術中輸液量、手術時間、麻酔時間、術中麻酔薬投与量、術中昇圧薬投与量、術中降圧薬投与量、脳波、薬物効果部位濃度、人工呼吸器設定、分時換気量、換気時間など)</p> <p>※上記診療情報は、研究終了後5年間もしくは、研究結果の公表後3年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。</p> <p>診療情報は当院の研究担当者が情報を取り扱い適切に保管します。</p>			
⑧ 目的	<p>電気けいれん療法(ECT)とは、頭部への通電により中心脳性の発作性反射を誘発し、二次的に生じる脳内過程により脳機能を改善する方法です。何らかの原因で薬物治療が出来ないうつ病や統合失調症の患者さんが適応となります。現在、静脈麻酔薬投与・筋弛緩薬投与・酸素化を行う修正型電気けいれん療法(m-ECT)が普及し、当院でも m-ECT 行っています。しかし、しばしば有効なけいれん波を得ることが出来ない症例を経験することがあります。麻酔薬の抗痙攣作用や過換気の有効性など、けいれんに影響を及ぼす因子は報告されていますが、どの因子がどの程度けいれんの成否や質に影響を及ぼすのかは分かっていません。</p> <p>本研究では、ECT のけいれんの質に最も関与する因子を検討し、最適な麻酔方法や換気方法を検討します。</p>			
⑨ 方法	<p>当院で全身麻酔下に ECT を受ける成人患者さんを対象とし、麻酔薬の種類、使用量、換気情報、けいれんの質や持続時間などのデータを収集します。けいれんの質や持続時間が良好な群と不十分な群に群分けを行い、統計学的な検証を行います。</p> <p>除外基準は以下とします。</p> <p>麻酔記録に不備がある症例、けいれんが不発であった症例</p>			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日		2025 年 11 月 11 日	
	院長承認日		2025 年 11 月 11 日	
⑪ 公表	個人情報は保護したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することができます。			

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問合わせ先にご連絡ください。

⑫ プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬ 知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭ 利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	8323(内線)	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構呉医療センター 麻酔科 奥川 結衣			

呉医療センター院長